

大会名 Competition	ウインターカップ2017 秋田県予選会 男子決勝
No. M-2	Year Month Day Time 2017 年 10 月 29 日 14 : 00
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
秋田工	(14 1st 22 18 2nd 18 16 3rd 7 24 4th 11 OT)	秋田南
72 ○		58 ●

主審:Referee 佐藤 匠
副審:1stUmpire 中道 凌平
副審:2ndUmpire 京極 幸村
テーブルオフィシャル:Table officials
横手高校男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	広川 汰輝	CAP	18	1	5	5	2	4	×	青山 竜也	CAP	9	0	4	1	1
5	×	宮野 良		22	0	11	0	0	5	×	鈴木 龍太郎		19	3	5	0	4
6	×	片村 俊介		11	1	2	4	0	6	×	茂木 怜央		8	0	4	0	0
7	×	長谷部 佑斗		5	1	1	0	2	7	×	関 海空		20	4	4	0	2
8	×	菊地 奏杜		2	0	1	0	2	8	/	佐藤 拓未		0	0	0	0	3
9		伊藤 俊介		-	-	-	-	-	9	×	岡部 皓心		2	0	1	0	4
10	/	小松 亮人		14	0	7	0	0	10		保坂 久裕		-	-	-	-	-
11	/	山野 光太		0	0	0	0	1	11		山 浅航也		-	-	-	-	-
12		田口 竜		-	-	-	-	-	12		工藤 慶大		-	-	-	-	-
13		進藤 大輝		-	-	-	-	-	13		佐藤 遼哉		-	-	-	-	-
14		齋藤 直貴		-	-	-	-	-	14		佐藤 歩		-	-	-	-	-
15		高山 泰希		-	-	-	-	-	15		成田 有佑		-	-	-	-	-
16		水谷 龍成		-	-	-	-	-	16		鳥井 寛弥		-	-	-	-	-
17		今津谷 直己		-	-	-	-	-	17		石塚 太智		-	-	-	-	-
18		日景 晴也		-	-	-	-	-	18		保泉 瑠		-	-	-	-	-
19	/	高橋 岳人		0	0	0	0	0	19		高田 健介		-	-	-	-	-
20		佐貫 完太郎		-	-	-	-	-	20		伊藤 大樹		-	-	-	-	-
21		池田 聖季		-	-	-	-	-	21		高橋 祥太		-	-	-	-	-
コーチ		片桐 博美							コーチ		村越 竜也						
Aコーチ		今津谷 直己							Aコーチ		關 友明						
合計				72	3	27	9	7	合計				58	7	18	1	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* インドシュート 2P:2P* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

インターハイ予選優勝の能代工が準々決勝で敗れ混戦模様となった今大会の男子決勝は、ともに初優勝を目指す秋田工と秋田南のカードとなった。

第1ピリオド、両チームともマンツーマン・ディフェンスでスタート。秋田工#5宮野がハイポストの1対1からレイアップを決めると、秋田南は#7関がミドルを沈め、両チームとも鋭いドライブからオフェンスを組み立てる。秋田南のディフェンスが激しくなり、秋田工はドライブが止められオフェンスのきっかけが掴めない。5分間ノーゴールの秋田工は残り4分でたまたまタイムアウト。その後、秋田工は#4広川や#5宮野の個人技で加点するが、秋田南は#5鈴木や#7関の高確率のシュートで差を広げ、14-22と秋田南の8点リードで第1ピリオドを終えた。

第2ピリオド、秋田工は#10小松がインサイドの1対1で3連続ゴールを決めリズムを掴みかけたが、その後は秋田南の激しいディフェンスを攻めあぐね、3分間ノーゴールと苦しい時間が続く。秋田南は#5鈴木が3Pやドライブで着実に加点し、残り5分で20-30とリードを10点に広げる。攻めあぐねる秋田工は#5宮野や#4広川がタフショットを沈め、秋田南に必死に食らいつき、32-40と秋田南が8点リードして前半を終えた。

第3ピリオド、両チームのディフェンスはマンツーマン。秋田工#5宮野がドライブを決め、さらにオフェンスリバウンドからゴール下を決めて36-40となったところで秋田南はタイムアウト。秋田工の勢いは止まらず、残り5分に#4広川のミドルでついに同点とする。その後はお互いにペースを渡さず一進一退の攻防が続き、47-48と秋田工の1点リードで最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、秋田工はリバウンドを得点につなげ、#5宮野のミドルや#10小松のゴール下で差を広げ、残り7分に速攻が決まって59-47となったところで秋田南はタイムアウト。秋田南はリバウンドで粘るもののシュートが決まらず苦しい展開となる。対する秋田工は#4広川のミドル、#6片村の3Pで68-53と突き放しにかかる。秋田南はディフェンスで粘り#7関の3Pで追いつくものの、秋田工は終盤に#4広川が4本のフリースローを着実に決め、最終スコアは72-58で秋田工が悲願の初優勝をとげた。

文責 【 打矢泰之(横手高) 】